

会 議 録

会議名		令和7年度 第11回 小金井市学童保育所運営協議会
事務局 (担当課)		児童青少年課
開催日時		令和8年3月24日(火) 19時00分～20時15分
開催場所		第二庁舎801会議室及び一部オンライン会議
出席者	委員	平岡委員長、川副副委員長、堤委員、田中委員、美川委員、鈴木委員、大庭委員、矢野委員、加藤委員、藤崎委員
	事務局	野村学童保育係長、須田学童保育係主任、中山主査、鈴木主査、楠本主任、大島主任
欠席者		伊東委員
会議次第		1 開会 2 議題 (1) 東京都認証学童クラブ事業での「長期休業期間における昼食提供の仕組み」について(市としてどのように取組む予定か) (2) その他(利用者アンケートの結果速報について、大規模化対策への対応について) 3 閉会
配布資料		【資料7-18】R7年度利用者アンケート結果
議事		1 開会 2 議題 (1) 東京都認証学童クラブ事業での「長期休業期間における昼食提供の仕組み」について(市としてどのように取組む予定か) (市) 東京都認証学童クラブ事業について、長期休業期間における昼食提供の仕組みについて事前質問を受けている。現時点では、小金井市として認証学童クラブ事業に何年度から移行するかは未定であるが、東京都認証学童クラブ事業のFAQにおいては、昼食提供の方法に特段の制限はなく、保護者が中心となった弁当発注など、地域の実情に応じた方法で実施されていればよいとされている。そのため、現在父母会が実施している宅配弁当の取組についても、認証学童クラブ事業に移行した場合に継続して差し支えないという理解である。市としては、現行の父母会による宅配弁当の取組について、引き続きお願いしたいと考えている。 (学) 前回の協議会では、4月1日以降の宅配弁当の取扱いについて、新学年対応等もあり実施を控えたいとの回答があったと認識している。一方で、東京都認証学童クラブ事業においては、春休み、夏休み、冬休みの昼食提供について、全日実施が必須という整理ではないと思うが、どのように考えているか。

	(市) FAQ では、長期休業期間中の昼食提供について、必ず全日実施しなければならないということではなく、保護者ニーズや地域の実情を踏まえて取り組めばよいとされている。したがって、制度上、4月1日以降を含め必ず実施しなければならないという整理ではない。 (学) 父母側としてはニーズがあるため、4月1日以降についても実施をお願いしたい。ニーズがあれば実施いただけるという理解でよいのか。父母側にニーズがある場合には、ぜひ前向きに実施を検討してほしい。 (市) 4月1日以降の実施については、業者の意向もあるため、現時点で即答はできない。要望として受け止め、今後協議したい。 (学) FAQ において、弁当手配の主体について、市が主導すべき、父母が主導すべきといった記載はあるのか。 (市) 現時点では、実施主体が保護者中心でも差し支えないという整理であり、市が必ず提供しなければならないとの記載はない。実施主体を市に移す場合には、利用対象の整理など、別途議論が必要になる可能性もある。 (学) 近隣他市では市主導で実施している例が多く、小金井市としても今後は市主導で取り組んでほしい。 (市) 要望として受け止める。 (2) その他（利用者アンケートの結果速報について、大規模化対策への対応について） (市) 利用者アンケートの速報値について説明した。今年度の回答件数は351件で、昨年度の414件から減少している。リマインドが十分でなかったことは反省点である。また自由記載欄について、昨年度は分類整理を行ったが、今年度は準備ができ次第メール等で共有したい。資料についても、見やすい形で整理し直したい。 (市) 主な設問の傾向としては、「子どもが安心して楽しく通えているか」
--	--

	という設問については、昨年度と比較して大きな差は見られなかった。一方、「保育環境、安全管理、衛生管理が適切に運営されていると思うか」という設問については、「そう思う」が昨年度より低下しており、変化が見られる項目である。自由記載では、アプリ導入への肯定的な意見、4年生以降も利用できるという意見、施設老朽化への意見、職員への感謝、大規模化への懸念、中抜け等の柔軟運用を希望する意見などが寄せられている。 (学) 単年度の結果だけではなく、過去数年の推移が見えないと評価しづらい。各学年でどう推移したか、どのような要因で良くなったか悪くなったかが見えるようにしてほしい。 また全体だけでなく、学童ごとの推移も示してほしい。学童によって満足度に大きな差がないか、特に大規模化が課題となっている学童の状況が分かると有益である。 (市) 学童ごとの結果については、これまでも一定の共有はしているが、整理したい。 (学) 生データは提供されないという理解でよい。生データが出せないのであれば、学童ごと、学年ごと、低学年・高学年別など、多角的に分析してほしい。 (市) 個人情報に該当するため、生データそのものの提供はできない。データの分析については、宿題として受け止め、可能な範囲で分析していきたい。 (学) 「子どもが安心して楽しく通えている」という設問では肯定的な回答が約9割あり高い水準と見える一方、「安全管理・衛生管理を含め適切に運営されている」という設問は肯定的回答がそれより低い。この差は、指導員対応などソフト面は評価されているが、施設や環境などハード面に課題があることを示しているのではないかと。市としてどのように受け止めているか。 (市) 来年度に向けて、企画や予算面も含めてしっかり検討していく必要があると考えている。施設や地域ごとの状況も踏まえつつ、安全面も含めて対応していきたい。
--	---

	(学) 全てを一度に解消することは難しいとしても、現場で大規模化を実感している父母の感覚が数字にも表れていると思うので、来年度の対応に活かしてほしい。 (市) 意見として受け止める。 (市) 大規模化対策への対応について、市内学童の大規模化が進んでおり、職員に欠員を抱えながら運営している状況である。これまで、「週４日以上の登所」を前提としてきた経緯があるが、市内学童の大規模化の実態とは必ずしも整合していない。そのため、家庭で保育が可能な場合には、家庭保育を妨げないような運用としていきたいと考えている。 (学) この運用変更は、何らかの形で明文化し周知されるのか。 (市) もともと週４日という条件自体が明文化として曖昧であった。これまでも文書を出している学童もあったが、今後は連絡アプリ等を活用した周知も検討したい。安全確保や大規模化対策の観点から柔軟化していく必要があると考えている。 (学) 水曜日はイベントがあるため、必ず登所するような運用がある学童もあった。 (市) 従来は、水曜日は授業が早く終わることが多い等、様々な事情から、水曜日登所をお願いしていた学童もあったかと思われる。現在は状況も変わってきており、各学童の実情に応じた運用でよいと考えている。 (学) 水曜日にイベントが多い印象があり、習い事と重なることがある。イベントはなるべく分散してほしい。 (市) 異なる曜日に行事を入れるなど工夫していきたい。 (学) 今回のアナウンスは、「なるべく学童に来ないでほしい」という意味ではなく、「週４日以上でなくてもよい」という柔軟化の趣旨でよいのか。
--	---

	(市) その理解でよい。家庭で保育が可能な場合には、無理に従来どおり登所してもらう必要はないという趣旨である。長期休業期間についても同様の考え方である。 (学) 「家庭保育」という表現だけだと、習い事など他の居場所に通わせたいというニーズが含まれない。「週４日以上要件があるから週２日にできない」という声があったので、家庭保育に限定しない表現にしてほしい。 (市) その点はもっともであり、家庭保育に限らず、より広く受け取れるような文言に改めていきたい。 (学) 現在の運用では、「明日は休みます」という突発的な連絡になりがちだが、習い事は毎週同じ曜日であることが多い。曜日別の利用人数が分かれば、混雑曜日を避けるなど、保護者も協力しやすくなるのではないかな。 (市) 入退所管理システムの活用にもつながる視点であり、何曜日が比較的空いているかなどが分かれば、保護者も協力しやすくなると思う。そうした方向性は有益である。 (学) 今回の取組が、大規模化対策としてどの程度効果があったかを定量的に把握することが重要ではないか。例えば、週４日未満利用が何人増え、その結果としてどの程度余裕が生まれたかなど、数値で見ていくべきではないか。 (市) その視点は重要である。出席率の変化を単にネガティブに捉えるのではなく、皆様の協力の結果として大規模化対策につながったとみる考え方もあり、今後検討していきたい。 (学) 長期休業期間、いわゆるサマー学童の取組についての進捗はどうか。 (市) 秋中に次年度募集があるため、それまでに一定の段取りは付けておきたいと考えている。
--	---

	(学) 重大事故・事故報告について、あかね学童で怪我が発生した件を受けて、重大インシデントがどの程度起きているのか、その内容や対策の有無を知りたいという声がある。プール事故の件もあり、全体の状況を把握したい。また事故報告書のようなものはあるのか。 (市) 現時点では資料準備が追いついていないが、4月には一定の状況を伝えたい。事故報告書はある。 (学) 事故報告の件数について教えてもらうことは可能か。 (市) 事故報告の内容も含め、どのような形でまとめて共有できるかは検討したい。学校側の報告との関係もあるため、内部で確認したい。 (学) 予算の検討状況と、防災無線の活用の検討状況について、市の中での議論結果が分かれば共有してほしい。 (市) 共有できる範囲で今後示していきたい。 (学) 父母会で取りまとめた予算要望について、年度をまたぐと父母側は2年任期のため引継ぎが難しい。行政側の段取り上やむを得ない部分があることは理解するが、もう少し早い段階で情報共有してもらえると引継ぎしやすい。 (市) 例えば、何を予算要求しているかというレベルであれば共有できる可能性がある。議会日程との関係もあるため、どこまで示せるかは整理したい。 (市) 次回日程 令和8年4月21日（火）19時から第二庁舎801会議室で開催予定。開催方法に関しては副委員長と調整しつつ、開催していくこととする。 3 閉会 令和7年度第11回小金井市学童保育運営協議会を閉会する。
--	--